

平成 19 年度当初予算 施策別概要

5 3 3 東紀州地域の振興

(主担当部 : 政策部東紀州対策局)

- 53301 持続可能な自立した地域の基盤づくりの推進 (政策部東紀州対策局)
- 53302 地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進 (政策部東紀州対策局)
- 53303 地域資源を生かし、地域の底力を高める産業振興の推進 (政策部東紀州対策局)

< 施策の目的 >

(対象) 東紀州地域が

(意図) 地域の自然や歴史とともに生きる暮らしを大切にしながら、地域経済を活性化し地域社会を健全に維持している

< 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	東紀州地域にかかる一人当たりの観光消費額	目標値	24,800 円
		現状値	22,534 円 (2005 年度)

東紀州地域にかかる一人当たり平均利用総額 (観光消費額) (三重県観光データ・観光客満足度評価調査事業 報告書)

県の取組 目標項目 (副指標)	東紀州地域への観光レクリエーション入込客数 (延数)	目標値	361 万人
		現状値	328 万人 (2005 年度)

< 現状と課題 >

- ・東紀州地域は、地理的条件もあり地域経済が停滞し、就労の場が少ないことから若年層が流出し、過疎・高齢化が進行するなど地域の活力が著しく低下しています。このままでは県内他地域との経済的な格差がますます拡大するだけでなく、地域社会そのものが維持できないことも危惧される状況にあります。
- ・一方、東紀州地域活性化調査 (平成 5 年度) 以降、東紀州体験フェスタ (平成 11 年度)、熊野古道の世界遺産登録 (平成 16 年度)、海洋深層水など新たな地域資源の開拓、高速道路網整備の進展など、さまざまな取組の成果が着実に現れ始めており、そういった現状分析のうえにたち、県政の最重要課題のひとつである東紀州地域の振興を進めていく必要があります。

< 平成 19 年度の取組方向 >

東紀州地域の自然と文化を大切にしながら、地域の自立的な発展を進めるための基盤を整備することが必要です。そのため、高速道路網等を整備するとともに、地域で総合的に観光振興、産業振興およびまちづくりを推進する新しいしくみづくりを進めます。

東紀州地域は、世界遺産である熊野古道をはじめ自然、歴史・文化など優れた観光に生かせる資源を有しています。これらの地域の宝を磨いていくことが、地域の誇りを高めると同時に、宿泊業や飲食業など観光に関連する産業、農林水産業など地域に根ざした産業の振興につながります。地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の取組を推進します。

東紀州地域の主要な産業である第一次産業は社会経済情勢の変化により長く低迷しています。地域資源を生かしながら高付加価値化を進めるなど、地域の底力を高める産業振興を促進します。

<主な事業>

(新)(重) 東紀州観光まちづくり推進事業

【基本事業名：53301 持続可能な自立した地域の基盤づくりの推進】

当初予算額： - 千円 33,678千円

事業概要：東紀州地域が一体となって観光振興、産業振興およびまちづくりを総合的に推進するための新しい組織を整備し、東紀州地域の経済の活性化をはかり地域社会を健全に維持する取組を進めます。

(新)(舞) 東紀州地域集客交流資源魅力向上支援事業

【基本事業名：53302 地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進】

当初予算額： - 千円 35,382千円

事業概要：東紀州地域の集客交流の取組をより効果的に行うため、地域が自ら取り組もうとする集客交流に結びつく資源の魅力向上をはかる事業に対し支援します。

(新)(舞) 熊野古道伊勢路を結ぶしくみづくり事業

【基本事業名：53302 地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進】

当初予算額： - 千円 15,428千円

事業概要：伊勢と熊野の二つの文化圏を結ぶ「熊野古道伊勢路」を多くの人々が通して歩ける環境やしきみづくりを行うことにより、地域間の連携や文化交流を活用した地域づくりを支援します。

(新)(重) 元気なみかんの里創生事業

【基本事業名：53303 地域資源を生かし、地域の底力を高める産業振興の推進】

当初予算額： - 千円 5,000千円

事業概要：消費者・量販店との情報交換・交流を深め、安定的な販売体制の確保をしながら、第二次、第三次産業との連携などにより、かんきつの産地の活性化をはかります。